

令和5年度第1回川南町総合教育会議 会議録

- 1 日 時 令和5年8月4日(金) 午前9時～9時50分
- 2 場 所 川南町生涯学習センター2階委員会室
- 3 出席者 東高士町長、河野秀二副町長
坂本幹夫教育長、川添健一教育長職務代理者、富山美津子委員
本多京子委員、椎木祐司委員
三好益夫教育課長、鈴木一成教育対策監、橋口実課長補佐

○橋口

ただ今から「令和5年度第1回総合教育会議」を開会します。まず初めに、東町長より御挨拶をお願いします。

○町長

第1回の総合教育会議ということで、急遽、実施をすることに決めさせていただきました。これにつきましては、お手元に配っている資料の第1、第2、第3というのがあると思います。総合教育会議の設置等の趣旨と役割について、まず、これを確認してから次に入っていこうと思っております。

総合教育会議の趣旨は、地方公共団体の長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的とします。ことになっております。構成は、地方公共団体の長と教育長及び全ての教育委員です。位置付けは、地方公共団体の長と教育委員会という、執行機関同士の協議と調整の場とする。協議とは、自由な意見交換が幅広く行われるもの。調整とは、教育委員会の権限に属する事項について、地方公共団体の長の権限と調和を図ることということでございます。

2枚目には、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4で定められている総合教育会議について記載しております。

3枚目の資料2には、教育委員会と首長との権限分担ということで、教育では、教育委員会が学校教育に関する事務、市町村立学校の設置管理、学校教育事業の実施というのが入っています。首長は、学校教育に関する事務、財務に関する事務、要するに予算関係が主たるものです。教育委員会が、提案した事業に対し、協議を行いながら、その予算をつけて進める手助けをするということでございます。

資料3には、中央教育行政の組織及び運営に関する法律の主要なところを載せております。それと、もう一つ付けていますのが、私が公民館長をやっているときに、新しい中学校がふるさと公園にできるという話を聞きましたので、なぜ、その場所になったのかという理由を教えて欲しいということで情報公開を行い、知り得た内容です。本日の会議の参考になればと思ひまして、添付したところです。

○橋口

ありがとうございました。続きまして、3、協議に入ります。総合教育会議は、町長が招集することとなっておりますので、町長に会議の議長をお願いしたいと思います。

○町長

それでは協議を始めます。

本日は、唐瀬原中学校、国光原中学校の統合問題をどうするかということで議論をしたいと思います。

中学校建設の問題は、先の選挙での最大の争点であり、選挙の結果は皆さんも御承知の通りです。これを受けて私は、6月の定例町議会に新中学校建設に関する基本計画の廃止を提案し、議会の承認を得ました。これで新中学校建設問題については決着を見ました。

皆さんも御存知の通り、新中学校建設の問題と中学校統合の問題は別問題であります。少子化、生徒数減少という、避けて通れない問題に対する統合是非の教育問題が先にあり、その結果を受けて統合するには、既存校舎を有効活用するのか、それとも新たに中学校を新設するのかというのが本来の検討の進め方ではありますが、今回の中学校問題は、新中学校建設ありきで進められており、進め方に問題があったものと考えております。

そこで、6月の町議会でも述べましたように、一旦白紙に戻して、改めてその方向性を検討するということにしました。これを受けて、教育委員会におかれましても、中学校統合に関する案件については、一旦白紙にさせていただいたところであります。

そこで、改めて中学校統合の是非について方向性を決めていくべく、総合教育会議を開催することといたしました。念のため申し上げますが、中学校統合の問題は、実際に計画を立て、住民との話し合いを進めていくのは教育委員会です。手続きとしては、教育委員会が学校設置条例の改正案を提出し、議会で可決して正式に決定となります。

また、学校統合には既存校舎を有効活用することになりますが、改築、増築といった予算的なことが付随しますので、教育委員会の専決事項と、町長の専決事項の協調が必要となります。その点、統合問題は、総合教育会議で検討を進めるのにふさわしい案件と認識しております。そこで、本日の会議では、1点目が統合の是非、2点目は統合が必要である場合の時期、3点目が、唐瀬原中校舎を活用するのか、国光原中校舎を活用するかについて自由に意見交換ができればと考えております。

まず統合の是非について議論を進めたいと思います。少子化で生徒数の減少ということがはっきりしており、中学校統合は仕方ないのではないかという意見もあります。また、教育委員会におかれましても、これまで統合の方向で事柄を進めてこられました。改めて統合の必要性について議論をしていきたいと思います。統合の問題については教育委員会の専決事項ではありますが、まず教育委員会の皆さんのお考えをお願いいたします。まずは、教育長からお願いいたします。

○教育長

統合については、少子化に伴って、今後時期を見て必要があるという認識は変わっていません。ただ、既存の中学校2校ありますけれども、どちらかに統合するかについては、いろいろなハード面ソフト面等を考えてみると、まだ時期が早いのではないかというのが、私の見解です。町長が言われますように教育の質の向上ということで、新校舎建設というのを除いて、例えば、唐瀬原中学校は今3学級で進んでいますけれども、1学級は25、6名です。やがて2学級になります。国光原中学校は今、2年生が37名います。1年生のときは35人編成で2学級でしたが、2年生になると40人編成になるので、1学級になっています。現場を見ますと、非常に窮屈で、

自分たちのバック等は教室内に置けず、廊下に並べている状況です。そういったところからも、3年生になったら、1年生と同じように2学級にできないかということで県教育委員会とも協議、要望を行っています。この要望も認められれば、しばらくは国光原中学校も2学級でやっていける。唐瀬原中学校も3学級でいける。今後は、2学級、1学級という形にもなると予想される段階になって、また、統合の是非について話をし、もう、校舎を作らずとも統合ができる形になると財政的にも、非常に負担も掛からないのではないのでしょうか。プレハブを作るとかなりの費用が掛かると思います。それと、今は町民の理解をなかなか得ることが難しいのではないのでしょうか。白紙にしてすぐ統合ですか、という形になると思います。ですから、一旦白紙に戻したわけですから、慎重に統合については考えていって、あるべき時期について統合していくというのが望ましいのではないかなと思っています。以上でございます。

○町長

川添委員をお願いします。

○川添委員

この1年間は、町長、副町長におかれましては、中学校統合について、民意といいますか、町民がどう思っているのかを時間をかけて、勉強されるというか、耳を傾けるといった意識があった方がいいと思います。

それと私が思っているのは、町長は川南町民の民意を得て、当選されたということですが、前町長が、どうして負けたのかということをおは自分なりに考えてみました。決して学校問題だけではなかったと思います。それが一番大きな問題でもなかったのではないかと。学校問題については、町民のいろんな考え方があって、例えば令和3年の2月から3月にかけて、1925名、世帯についてアンケート調査をやっているのですが、やっぱり場所については、中央部に持ってきた方がいいというのが60%ありました。その中で唐中の方を整備して、予算的なこともあるし、生徒数も多いし、そちらに持っていった方がいいのではないかと希望するのが18%ぐらいはあったわけです。しかし、国中側にも、10%を超えるぐらいは統合する場合には国中にしてほしいという意見もありました。ということは、私の今の判断では、やっぱり町民の多くは、統合する場合の校舎の場所は中央に近いところ、校区境からそれほど離れてないところということが、学校に関する民意ではないかというふうに思っています。

○町長

富山委員よろしくをお願いします。

○富山委員

もうほとんど前のお二人が述べられましたが、やはり教育委員会として、私も教育委員になって、ほとんどこの学校の統合問題に関わってきました。この間ずっと議論を行っていましたが、議会となかなか意見がかみ合わず、提案を否決されたこともあり、進まなかった時期もありました。それで、教育委員会が川添委員の言われたアンケートを行って、この町民のアンケート結果をもとに、中学校統合の基本計画を議会で可決してもらったということで、やっと統合の話は進み始めたと感じています。勝手に統廃合を進めたとか、新校舎ありきというよりも、全て議会との調整とかそういうのもあって進み、全く違法的に教育委員会が統合は新校舎を作るということで進めたわけではなくて、

皆さんで話し合いながら調整しながら進めた結果であったので、さきほど町長が言われたことには違和感があります。6月の町議会で中学校統合の基本計画が廃止になったので、町民もものすごく戸惑っていると思います。今でもどうなるのって聞かれることが多くあります。基本計画は廃止となったので、教育委員会としては、今ある条件の中で、子供たちの教育の質は絶対に下げてはならない。本当に丁寧にこれまで進めてきたものを、手を緩めるわけにはいかないと考えています。

国中校区は、木城に新しい中学校ができたし、もう坂を下れば高鍋もすぐそこにあるというところで、何か揺れていらっしゃる家庭も多少見え隠れしていると聞いています。そうやって町民がバラバラになっていくのではなくて、やっぱり川南は一つなので、子供たちの教育に目を向けてやっていくのが一番いいかと思っています。統合も、時期を見て行うというのは本当に必要だと思います。校舎に関しても既存の中学校でと、さっと決められる問題ではないと思います。やはりもう少し時間をかけて、みんなでまた最初から調整しながら協議しながら進めていくのが一番大事だと思います。

○町長

本多委員よろしくお願ひします。

○本多委員

私も皆さんが言われている意見と同じですけども、統合は将来的には必要だと思います。もう今わかるように人口が減って子供たちが減って、いつかはしなくてはいけないことだと思います。それでも、なぜこの新しい町長が当選されてすぐ、廃止案を出されて、それが可決になったということ、なぜ早急にしてしまったのかということがとても心に引っかかっています。もう少し今までの議会で決まったことの成り行きをちゃんとわきまえて、町民の皆様からの意見もちゃんと聞いた上で、それから議題として出していても良かったのではないかと思います。今、タウンミーティングなんかにも出席させてもらっていますけど、やっぱり、保護者世代とかはものすごく困っているというか、戸惑っているというか、意見もちゃんと聞いてもらえないという方も多いし、どういうふうにして自分たちの意見を町に伝えたらいいのかわからないと言っている人も多いみたいなので、今からそういう学校のことを検討していられるならば、もう少し子供たちを育てる親とか子供たちとかの意見を真剣に聞いて検討し直していただいた方がいいのではないかと思います。それと、今までのちゃんとした会議の中で、中央部にできるから、統合がいいという形の結果になっています。今、新たに統合するといっても、既存の場所と言っても、それは理解が得られるかどうかわかりません。現状を見ていただくとわかると思うのですが、今の校舎を使うというのは、35人とか37人とか入ってしまえば窮屈で、今タブレットとか使っていますけど、置く場所もなく、机も狭く、環境的にはあまり良くないと思います。早急にどちらかに統合するとなると、増築の必要が出てきて、校舎建設中に生徒たちに負担が掛かると考えられますので、しばらくは、教育長が言われたように、今あるところを充実させて、教育を停滞させないようにして行って、また時期が来た時には住民の方とか、父兄の方の意見を聞きながら、それを汲み取って考え直していただいた方がいいのではないかと思います。

○町長

椎木委員よろしくお願ひします。

○町長

椎木委員よろしく申し上げます。

○椎木委員

統廃合の是非ということですが、統合に関しましては、私は現在PTAにも属しております、両校の保護者との繋がりが多い状況ということで言わせていただきますと、両校の保護者とも、今後、統合というのは、やはり視野に入れているということでした。町長が当選したことにより白紙に戻すというのがマニフェストだったので、それが実行されたということは、両校の保護者も理解しています。新しい学校が建たなくなったから統廃合もなくなると理解しています。ですから、1回白紙になったのだから統合は令和8年にはないですよ、という話もたくさんいただいています。こうなってくると今後、子供たちの教育環境がどう変わっていくのか、現在の中学校、両校の先生たちの充実が図れるのか、先ほど教育長も申しました通り、現在国光原中学校2年生が37名で教室に一杯です。その状況で先生の目が届かない等多数の問題が保護者から出て、どうにか2学級にできませんか、という要望を受けています。まだはっきりと伝えてはいなくて、今のまま教育を充実させることで進めていきますという話をしています。それで何とか理解を得ている状況なので、今後の統合の時期は、白紙になってすぐに、どちらかに統合します。では両校の保護者からの理解は得られないのではないかと考えます。また、私は国光原中地区に属しているのですが、保護者の中には、もし唐中に統合になるのであれば、私立の中学校に行かせます。との声もありました。それから木城、高鍋の方も視野に入れるという話も出ています。また、唐中の保護者からも唐中を既存のまま使うのであれば、唐中に子供を出さない、それであれば、私立に出しますという話も多数あります。それを踏まえまして、一番はやはり子育て世代、それから、これから教育の現場に入ってくる保護者たちへの理解を深めないことには、再度統合という話に持っていくのはなかなか厳しいのかなと思います。反発が出るのはもう明らかで、すでに私のところにはたくさんきています。この状況で、どちらかの学校に統合しますというと、町長にもクレームがいくと思います。そういう危険性を回避するのであれば、今はまだゆっくりと時間を掛けて話を詰めた方がベストかなと思います。

○町長

実は私4年ほど前から選挙に出ようということで、中学校の問題もいろいろと話をしてきました。平成31年に学校規模適正化審議会で染川さんが答申をされておりました、その中で、苦渋の選択であるが両中学校の統廃合はもうやむを得ないということ述べられております。だから、統合については、ずっと私はやむを得ないということでもみんなの意見が集約できているというふうに思っていました。途中から新しい中学校ということが出てきたので、中学校建設問題とその統合が一緒になって、おかしかったのではないかなと私はそういうふうに理解しています。私の選挙公約は、新しい中学校は作らないということでしたので、選挙人への約束として6月の議会に基本計画の廃止案を出させていただきました。その後に白紙に戻して、今日までいろんな方とお話をし、いろんな方の意見を聞いてやってきました。統合は急げという意見を聞きます。この前のタウンミーティングでも、統合を急げという意見が出ました。前の町長が言っていた計画でも遅いぐらいだと、もっと早くやるべきだという意見もありました。いろんなこと

を聞いたのですが、この前の夜市の時も若い人が私のところへ来て、町長、統合を急いでください。うちの子は、今小学生ですけども、中学校に行くころまでには、一つにしてください。そこで学ばせたいです。という方が2、3人おられました。そういう方もおられる。今、非常に不安な状況じゃないのかなと思っています。これをやっぱり一つにまとめていくためには、いい意見を集約し、私の決断で物事を進めていく道が、今望まれている時期じゃないかと、町長の決断が必要かなというふうに思いますので、私は高所大所から統合を進めていきたいというふうに思っております。しかし、これには教育委員会の御協力が絶対に必要なので、一緒になって、また統合説明会とかそういうのをやっていきながら、この話を前に進めていきたいと考えています。今のままだったら何も前進をしない。もう混迷を深めるだけなので、私はよろしくないと思います。一歩進める。統合については、ほとんど住民の方のコンセンサスを得ていると私は思っていますので、統合の話の前に進めたいと思っております。

○富山委員

町長にちょっとお伺いしたいのですが、統合することは、もう皆さんの意見はほぼ同じだと思います。新校舎を建てないというのはどういったことからでしょうか。

○町長

建てる必要がありますか。必要ですか。

○富山委員

現在、国中も唐中も、ものすごく年月が経っています。もうじき建て替えなければいけないという、壊さなければいけないというところにも来ています。もう目前まで来ていると思います。

○町長

そういうふうに前の政権が言っていました。ところが、議会の議事録を調べましたら、令和4年6月の一般質問で、耐震は平成21年までに完了して、改修済みであると。国の定める基準では、通常、震度6、7では0.6必要だが、0.71だから全然心配はない。というふうに述べられている。去年の6月の話です。しかし、一方ではコンクリートは劣化します等、反対のことも言っていました。言っていることがおかしいと思います。

○富山委員

私もその時の議会も傍聴していました。建設課長は、耐震工事はもう全て終わらせていますが、大きい地震が来た場合には、そのままでは使えないという答弁をしたと記憶しています。

○町長

だから、それは分かりますが中学校だけではなく、小学校も普通の建物もそうなります。

○富山委員

そうなったときに、子供たちを入れる場所がなくなります。使えなくなった場合には、もし、既存中学校の敷地に新たに作るとなれば、それこそプレハブを作って、ものすごい騒音の中で子供たちは耐えなければならなくなります。

○椎木委員

プレハブに関連して意見させてください。私の弟は、多賀小校舎の建て替え時に在籍していました。プレハブでの仮設校舎で学校生活を過ごす期間があり、教育環境が整わない部分もあったと聞いています。特に、運動場が使えなくなり、運動会は十文字農村公園で行ったため、移動等には危険が伴い、保護者からの苦情もあったと聞いています。子ども達もいろいろな苦労があったと聞いています。また、新中学校の件で、これまで町民から、新中学校は防災拠点として利用できるのか、ということを多数聞かれました。現状では、年配から若者まで、南海トラフというキーワードがどうしても気になっています。このような状況で、新中学校は防災拠点になると考えていました。既存の中学校は、耐震工事は終わっているのに、震度しだいでは壊れることはないかもしれないが長期の利用ができるかは分かりませんと伝えていきます。

○町長

わかりました。

今日の議論は統合の是非についてですので、話を戻します。統合については、皆さんはする必要がないとお考えですか。私は統合が必要と考えています。

○富山委員

いやいや、時期を見て、今すぐというのはちょっと無理な話ではないかなということですね。

○町長

統合を私は進めたい。一歩進めたいという私の考えです。

○本多委員

統合は時期が来れば必要だという考えです。

○町長

時期がいつかは分からないということですか。

○椎木委員

それはまた話し合いかなって言うところですね。

○富山委員

だからそれまでの間、教育の質はしっかりと保ってやっていく必要があるということですね。

○町長

時期が来たらということですが、その時期がいつになるかということが重要です。統合を行うという前提で町民に説明をしないといけないと考えています。このままでは、町が2分されたような状況です。混乱をずっと招くような状況を作りたくない。という考えを持っています。だから、統合をなるべく早く進めていきたい。そして、今の状況を改善したい。要するに、国中の子供たちが困っていると聞いています。特に部活なんかでも練習を一緒にやっていますけども、大会に行ったときに、どの中学校の名前を使うだろうか。他の学校の名前で出るのも可哀想だなと思います。そういう子供たちの気持ちはどうなのかなと思いました。統合を早くして、同じ中学校の中でそういう部活をやるという形にした方が私はいいのではないかな、子供たちのためになるのではないかなというふうに思っています。

○川添委員

統合についてはみんな、そうしたいと思っているのです。そこで、統合する場合にどんな統合の仕方をするのかということですね。片一方の学校を使うのかどうか。あるいは、新しい場所に作るのかということところが一番大事というか。そこで唐瀬原中学校に整備して統合するということでは、今の時点ではとてもじゃないと思います。

○本多委員

ただ統合するというだけのことでなく、その条件が揃った上で統合しないと、ただ統合します。と決めるのは早すぎると思います。全部が揃った時点で、それなら統合できますね。と言わないと。どこでもいいからとにかく統合しろ。というわけにはいきなと思います。

○町長

私も作りませんので、校舎はですね。これはもう徹底しております。

○本多委員

どうしてそこが決定なのですか。統合基本計画等はすべてを廃止にして、白紙に戻したのに、何で新しい校舎は作らないということだけは決定なのですか。

○町長

私が政権にいる間には作りません。議会で表明しました。だから私の4年間は、新築はしません。だって子供は減っています。建てる必要ないでしょう。作る必要がありませんか。

○本多委員

子供だけのためじゃないっていうのは、さっき言われたように防災のこともあります。

○町長

だから防災のためにあの場所に建てるのですか。あの場所には、口蹄疫の慰霊碑もありますよ。埋蔵文化財の発掘調査もしないといけません。

○富山委員

私、最初はびっくりしました。ここに学校をと言われたときは、でも待てよと思ったのが、文化ホール、図書館にもすぐ時間をかけずに行けるし、安全な状態で自転車にも乗らずに行けるし、役場に職場体験でも行ける。議会の傍聴にも行ける。福祉センターにもすぐ行ける。

○町長

子供たちが通学する登下校の時間帯と役場とか農協その他の会社員の人たちの出退社時間、時間帯が一緒になりませんか。交通安全は非常に大事ですよ。こんな場所に作ったら危険ですよ。そして、坂がありますから。中学生に、何度安全を守りなさいと言ってもストップしません。もう何回かヒヤヒヤする場面を見えています。私は、だから絶対、中央に作るべきじゃない。やっぱり学び舎というのは、静かなところに作るべきだと私は思っています。作るのであればね。

○椎木委員

話の途中で申し訳ないですけども、町長のマニフェストなのでもう新中学校を作らなくてもいいんですけど、もし仮にアンケートをとったとして、既存の中学校は使いたくないという意見が出た場合はやっぱり、新たな場所を考えて設立するという考えもないのですか。あの場所は、町長も言われるとおりに口蹄疫の慰霊碑もありますし、もし建て

替えるなら静かな場所での発言もありました。であれば、アンケート次第では、建て替えるという話にもなってくるのかなってちょっと思いましたので。また、一つ言えるのは、当初の予定であった令和8年に統合というのは無理だと思います。町民の気持ちの切り替えは厳しいのではないのでしょうか。町長のところに話にきた保護者は、町長に新校舎建設を頼めば建ててくれると思っています。しかし、町長は、新校舎は建てませんよ。とお伝えしています。統合については教育委員もみんなゆくゆくはしないと聞いています。現状で子供たちは少なくなる、教育の質を求めるためには統合は必要ですが、だからといってすぐにはできません。教育委員会で話をして、今現状の子供たち、両方の子供たちの充実を図るためには、やはり今の教師不足、それから勉強のスペースの確保、ここ二つが重要だと考えます。教職員の充実が一番大事。県教育委員会で配置が難しいときは、町の予算で確保して欲しいと思います。統合はいずれするかもしれないけど、今すぐは難しいのかなと思います。

○町長

わかりました。貴重な意見を出していただきまして皆さんのお考えが大体わかりましたので、本日はこれで終わります。どうもありがとうございました。

○橋口

以上をもちまして令和5年度第1回総合教育会議を終了します。お疲れ様でした。

上記は、令和5年度第1回川南町総合教育会議のてん末に相違ないことを証明する。

令和5年8月**23**日

川 南 町 町 長

東 高 士

川南町教育委員会 教育長

坂 本 幹 夫